

「令和2年度 助産師セミナー&助産師交流会」オンライン開催

本学医学部看護学科は、助産師課程を有しており、学士課程において多くの助産師を育成してきました。助産師の卒業生は、専門職として国内外で活躍し続けています。そこで、看護基礎教育課程から可能な看護職に関する生涯学習の支援を目的に、2017年度より助産師を目指す在學生と助産師の卒業生が交流をできる「助産師交流会」を、2019年度からは助産師の卒業生を対象にしたキャリア支援の一環として助産実践能力の向上を狙った「助産師セミナー」を開催し始めました。2020年度の開催は、コロナ禍でも開催方法の工夫により実現しました。

2020年度は、オンライン下で開催しました。「助産師セミナー」(午前の部)は、1時間の講演を行いました。講師は、国外で助産師として活躍したご経験を持つ本学教員が担い、講演のテーマを「国際協力と助産～アフリカでの経験から～」と題し、国際的な活動経験を具体的にお教えいただきました。午後の部は「助産師交流会」を開催し、助産師を目指したい在學生と助産師の卒業生がともに語り合える場となるよう、複数のグループを構成し、お互い気軽に会話ができる進行を意図した交流会にしました。

参加者は45名で(在學生25名、卒業生10名、教員・医大病院看護部の看護管理者等10名)、午前の部は40名、午後の部は41名がご参加くださいました。終了後に簡単なアンケートを実施した結果、セミナー(午前の部)に興味深くご参加いただいた参加者は90%、交流会(午後の部)へ興味深くご参加いただいた参加者は97%に上りました。在學生は、助産師課程の選考決定、助産学を学ぶ意欲が高まった、就職先を選択する具体的な情報収集の場に役立ったとし、卒業生は、有意義な時間を過ごせた、助産師の仕事を在學生に理解してもらえるアドバイスができたといった充実感を得ており、次年度も出席を希望する卒業生は77%に上りました。卒業生には参加すること自体が、過去の自分を回想する有意義な時間となり、明日以降の仕事の活力源にもなっていました。

山内まゆみ

